県北部豪雨災害から1年

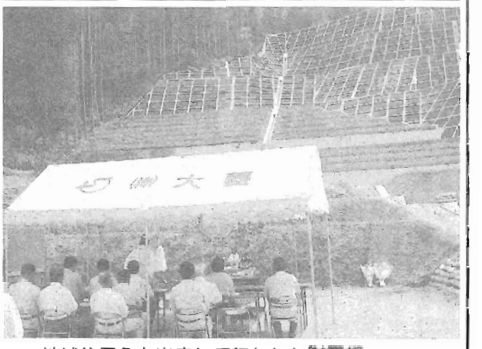
治山工事了終　現地で竣工慰霊祭

昨夏発生した県北部豪雨災害で山が崩れ住家2棟が全壊、死者1人を出した18年度災害関連緊急治山事業(県大口農林事務所発注)がこのほど完成し、24日、菱刈町下手の現地で竣工慰霊祭が行われた。

同工事は、山腹工0・30haでコンクリート土留工や水路工を行うもので、工期は8月の予定だったが、住民からの台風シーズン前完成を、との要望から約1カ月早く完成したもの。施工は㈱大菱。

竣工慰霊祭には、発注機関の県関係者をはじめ、西幸博菱刈町議会議長、施工業者、地域住民ら約30人が出席。神事の後、井内祥人県姶良・伊佐地域振興局農林水産部大口支所長が「早いものであの災害から1年が経った。管内では95カ所の山崩れが発生したが、防災工事を行った個所はほとんど被災していなかった。このことから防災工事のありがたさを実感し、またこの悲惨さを忘れてはいけない」と挨拶。

このあと、瓜生島修㈱大菱社長が「今回の竣工は発注機関、地元の関係者の協力のおかげ。今後も安心して住める郷土づくりに貢献していきたい」と話し、慰霊祭を終えた。



地域住民らも出席して行われた慰霊祭
＝菱刈町下手の現地で

県防水工事業協組総会

新理事長に山崎氏

県防水工事業協同組合(上別府満理事長)は27日、鹿児島市のパレスイン鹿児島で19年度通常総会を開き、技能士の活用および推進や組合検査の実施、品質管理の徹底等を盛り込んだ新年度事業計画を決めたほか、役員改選では新理事長に山崎洋氏(㈱山崎商会)を選出した。

会の冒頭、上別府理事長は、「緩やかながら景気が回復したと言われているが、地方は依然として厳しい状態は変わらない。また、工事量の減少に伴い受注競争の激化など、今年も厳しい年になると予想される。組合としては、今後も施工技術の向上・技能士の育成・労働災害の防止に力を入れていきたい」などと挨拶した。

山崎洋新理事長

総会終了後、記念写真に納まる会員
＝鹿児島市のパレスイン鹿児島で

引き続き、山崎氏を議長に選出し、18年度事業・収支決算報告、19年度事業計画・収支予算案など全6議案を審議した結果、執行部原案通りすべて可決承認した。

役員改選により勇退した上別府前理事長は「14年間、皆様のおかげで理事長を務め上げることができました。本当にありがとうございました」と謝辞を述べ、山崎新理事長は「厳しい経営環境にあるが、先輩たちが培ってきた歴史を基盤に、…きたい」と抱負を述べた。

新年度事業計画は、①購買事業の推進②組合検査の実施および品質管理の徹底③追跡調査・事前調査の実施④組合保証制度の継続⑤教育事業の充実(技術講習会・安全講習会・独禁法順守に関する研修会の開催)⑥技能士の活用および推進⑦新規組合員加入の推進－など。

新役員は次の通り。

理事長＝山崎洋▽専務理事＝溝口隆志(南日防水工業㈱)▽理事＝上別府満(㈱上別府工務所)米森健一郎(㈱北原建材商会)濱田光一(㈲ハヤト工業)木村吉秀(㈲大徳防水)日高和三(㈱フォレステック)▽監事＝堀之内茂(㈲ダイヤモンド技建)池田晃範(㈱ジュノカ)

鹿児島知的財産セミナー

上中氏　商品開発の苦労語る

九州知的財産戦略協議会、九州経済産業局、県主催の「鹿児島知的財産セミナー」が27日、鹿児島市の県歴史資料センター黎明館であり、㈱ストーンワークスの上中誠代表取締役がシラス緑化基盤開発までの経緯や知的財産の重要性などを講演した。

セミナーには約100人が出席。上中氏は「鹿児島市電敷を芝生で緑化～シラスを使った緑化基盤の開発～」をテーマに自身の半生を振り返った。

昭和43年から20年続けた左官業を住宅内外装の変化による需要減から廃業。平成2年に人工大理石のストーンワークスを設立、しかし、公共工事の激減や規制緩和による輸入石材の台頭から、新たにエコ商品開発に取り組む。13年に県工業技術センターとの共同研究を開始し、14年9月にシラス緑化基盤の開発に成功。社や商品は数々の賞を受賞、シラス緑化基盤は鹿児島市電敷の緑化に採用され、注目を集めている。

上中氏は「技術は社会に必要とされないと生き残れないと感じている。シラスを商品化する挑戦は困難を極めたが、物づくりの執念でやり遂げた。新技術を知的財産にすることで、大企業にも存在価値を示せる」と締めくくった。

物づくりの執念でやり遂げたと話す上中氏＝鹿児島市の県歴史資料センター黎明館で

18年度住宅関係功労者賞を受賞した

有馬　奈良男　氏

長年にわたる建築住宅行政への功績が認められ、このほど㈱大進の有馬奈良男氏が、(社)日本住宅協会(西岡満会長)から18年度住宅関係功労者賞を受けた。

昭和37年県庁に入庁以来、35年間にわたり建築住宅行政全般に精力的に携わり、県民の居住水準の向上および良好な住宅環境の形成に貢献した業績が評価されたもの。

受賞にあたって、有馬氏は「建築住宅行政に携わってきたものとして、非常に光栄なこと。これまでの業務の積み重ねが評価されたものであり、お世話になった方々に心から感謝します」と謙虚に語る。

まちづくりや地域人口の定住化、生活環境の整備、経済対策等の幅広い側面を持つ住宅行政の中で、「多角的な視点から技術を生かし、安全・安心・快適な住まいづくりを基本に、特に地震・風水害・防火に強い住宅建設を目標としてきたい」と抱負を語る。日鋼市在住。

住宅環境形成に貢献

㈱大進政締役、日置支社長。

(水道伸哉・報道編集部副部長)

富士通ソリューションフェア

安心安全のシステム提案

鹿児島地区の富士通グループが一堂に会した「富士通ソリューションフェア」が27日、鹿児島市のドルフィンポートドルフィンホールで開催された。安心安全や内部統制に即した最新システムが多数展示され、企業や団体など多くの参加者でにぎわった。

会場には、地域に根差した共通ソリューションとして、GLOVIAsmart「人事・給与/会計ソリューション」をはじめ、就業管理システム「WebAS Component就業管理」などをデモ・展示。

また、富士通大型iDC(インターネット・データ・センター)と連携した、情報システム部門の課題解消に向けた安心安全なアウトソーシングサービスも紹介。日本システム㈱は、産業廃棄物処理用マニフェスト伝票・報告書管理システム「デースキーパー」を展示し、注目を集めていた。

富士通㈱鹿児島支店の赤塚洋支店長は、「企業や団体は安心安全、内部統制に対応していかねばならず、フェアではユーザーの要望に応えるさまざまなシステムを紹介しています。ぜひ、ITを活用していただき、皆様の業績向上に寄与できれば幸いです」と話した。

内部統制に即した最新システムも紹介したフェア＝鹿児島市のドルフィンポートで